

川崎社会保険病院について

川崎社会保険病院をめぐる動き

社会保険病院等は、主に昭和20年代に、政府管掌健康保険の被保険者及びその家族の保険診療を確保し、保険制度を普及するために整備される。病院運営が、社団法人全国社会保険協会連合会(以下「全社連」という。)に委託されている病院は、平成24年末で、全国に51病院となっている。



＜平成20年10月＞ 全国の社会保険病院等が、独立行政法人年金・健康保険福祉施設整理機構(以下「RFO」という。)の管理下となる。



＜平成23年12月＞ 厚生労働省から、川崎社会保険病院が譲渡対象病院として選定される。



＜平成24年5月＞ RFOにおいて、川崎社会保険病院の入札が執行され、医療法人社団 葵会(東京都千代田区内幸町1-1-1 理事長 新谷幸義)が落札する。



＜平成24年12月＞ RFOは、平成26年4月に、地域医療の確保を目的として病院等の運営を行う「独立行政法人地域医療機能推進機構」に改組されることになっているが、この移行準備の一環として、社会保険病院等の財務と内部統制の状況、改組時の精算に向けて各病院の資産・収益等を把握するための調査が、監査法人に委託して実施され、その中間報告が公表された。



＜平成25年2月＞ RFOが発表した上記の中間報告においては、譲渡が決定している川崎社会保険病院を含む2病院に対する調査が含まれていなかったため、RFO理事長に対し、川崎社会保険病院における財務調査の実施を要望した。【資料2ページ左側】



＜平成25年2月＞ RFO理事長から、川崎社会保険病院における財務調査を実施し、結果を公表するとの回答があった。【資料2ページ右側】

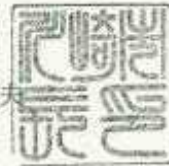


＜平成25年3月＞ RFOから、社会保険病院等の財務及び内部統制調査結果が公表される。【資料3ページ】

24川健医第1236号
平成25年2月12日

独立行政法人年金・健康保険福祉施設整理機構
理事長 尾身 茂 様

川崎市長 阿部 孝夫



社会保険病院に関する財務・会計処理の問題について(照会)

時下、ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

平成24年12月21日付けをもって、厚生労働省年金局から「(独)年金・健康福祉施設整理機構(RFO)による社会保険病院等の財務及び内部統制に関する調査について」が公表され、社会保険病院に関する財務・会計処理の問題が報道されました。これによれば、川崎社会保険病院は、平成24年9月時点で譲渡対象とされていたため、調査対象に含まれないとのことですが、同病院の譲渡に至るまでの経緯については、市議会をはじめ市民や報道機関の関心が高く、さらに本市としても同病院の事業に対し、補助金等として多額の公金を支出しておりますので、同病院の決算書など、財務内容の信頼性を確認する必要があります。

つきましては、次の事項について、平成25年2月末日までに御回答をいただきますようお願いいたします。

なお、本書面及び回答につきましては、市議会等に対して公表いたします。

- 1 現在、同調査は実施中とのことですが、貴機構は川崎社会保険病院について、今後財務状況等の調査を行う予定があるのか、さらにこれを公表する予定があるのか伺います。
- 2 同病院について、上記の調査を今後とも実施しないのであれば、その理由を伺います。

(健康福祉局保健医療部地域医療課 担当 宮田)
電話044(200)3797



機構発 第0222001号
平成25年2月22日

川崎市長
阿部 孝夫 殿

独立行政法人年金・健康保険福祉施設整理機構
理事長 尾身 茂 様



「社会保険病院に関する財務・会計処理の問題について」の照会に対する回答について

記

平成25年2月12日付、24川健医第1236号において、ご照会がありました、社会保険病院に関する財務・会計処理の問題について、下記の通り回答致します。

記

- 1、川崎社会保険病院について、今後財務状況等の調査を行う予定があるか、さらにこれを公表する予定があるかについて
川崎社会保険病院について、財務に関する調査を行う予定である。また、必要に応じて、その結果について公表する予定である。
- 2、同病院について、上記の調査を今後とも実施しないのであれば、その理由について

該当なし

以 上



(独)年金・健康保険福祉施設整理機構(RFO)による社会保険病院等の財務及び内部統制調査結果について

【要旨】

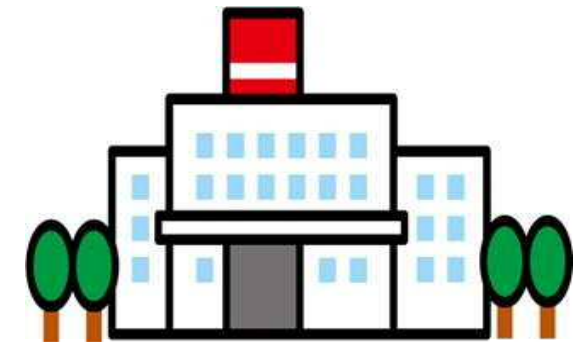
- 川崎社会保険病院の平成22年度決算においては、特別利益として約1億500万円、特別損失として約2億2,100万円が計上されている。
- この金額は、決算においてあるべき残高を算出し、会計帳簿との差額を修正した金額であること。
- その差額が何が原因で発生したかは、過去の管理状況が悪く、個々に理由を把握することは困難な状況であるが、全社連がその発生原因の調査を別途行っていること。

【平成25年3月21日付RFO公開資料より抜粋】

- 当初調査対象となっていなかった川崎社会保険病院については、特別利益を約1億500万円、特別損失を約2億2,100万円計上しており、全社連がその発生原因の調査を別途行っている。

<平成22年度において、原因究明せずに不明金を特別損失等で処理したものの状況(当初調査対象に含まれていなかった川崎社会保険病院)> (単位:円)

勘定区分	財務調査における指摘	平成22年度における特別利益・特別損失額
特別利益計上	平成22年度決算において、未払い費用等についてあるべき残高を算出し、会計帳簿と差額を修正したものである。当該差額が何が原因で発生したのかは過去の管理状況等が悪く、個々に理由を把握することは困難な状況である。	105,205,578
特別損失計上	平成22年度決算において、医業未収金等についてあるべき残高を算出し、会計帳簿の差額を修正したものである。当該差額が何が原因で発生したのかは過去の管理状況等が悪く、個々に理由を把握することは困難な状況である。	220,914,213



(参考)川崎社会保険病院について

川崎社会保険病院の概要	
所在地	川崎市川崎区田町2-9-1
敷地	国有地15150.74㎡、院有地204.00㎡
建物	地下2階、地上8階(平成10年竣工)
診療科 (平成21年10月現在)	内科、心療内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、外科、整形外科、小児科、泌尿器科、皮膚科、眼科、肛門科、脳神経外科、心臓血管外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、歯科、歯科口腔外科、腎臓科(人工透析)
併設事業	健康管理センター

川崎社会保険病院の沿革	
昭和23年10月	日本冶金株式会社から国(社会保険庁)が診療所を買収 財団法人神奈川県社会保険協会に委託し、健康保険川崎病院として発足
昭和32年8月	病院名称を「健康保険総合川崎中央病院」に変更
昭和33年9月	病院運営が「社団法人全国社会保険協会連合会」に委託となり、全国組織のグループ病院となる。
平成10年12月	病院名称を「川崎社会保険病院」に変更

川崎社会保険病院に対する補助金について

補助事業名称	交付目的	補助金額の算定手法	補助金等交付先	参考1 (川崎社会保険病院における平成23年度実績)		参考2 (平成23年度の事業実績)	
				受領金額	件数等	交付対象 医療機関	事業決算金額
1 院内保育事業 運営費補助金	看護師等医療従事者の離職防止等を目的として、医療機関の院内保育施設の運営費に対して補助金を交付する。	神奈川県内の院内保育事業運営費補助金交付事業と連動し、保育人員、保育時間、保育士等職員数に応じて、補助金が交付される。	申請医療機関	671,000円	・平成24年3月1日現在 保育人員10名、職員3.2名 ・神奈川県院内保育事業運営費補助金1,343,000円(協調補助)	11病院	9,948,000円
2 看護師充足対策事業 (1日看護体験)補助金	看護師充足対策の一環として、医療機関等における看護体験研修の実施に対して補助金を交付する。	補助金交付申請者となる「川崎市病院協会」から、医療機関の事業実施状況に応じて補助金が分配されている。	川崎市病院協会	22,550円	・平成23年7月21日実施 ・高校生5名の参加	24病院	788,000円
3 病院群輪番制病院 運営事業補助金	夜間における入院対応救急医療の確保を目的として、「川崎市病院協会」が実施する病院群輪番制病院運営事業に補助金を交付する。	補助金交付申請者となる「川崎市病院協会」から、病院群輪番制病院の当番回数に基づき、補助金が分配されている。	川崎市病院協会	2,109,000円	・平成23年度の当番実績 ⇒30日間	24病院	50,012,160円
4 救急医療等設備整備 事業補助金	救急医療等の整備充実を目的として、「川崎市病院協会」が実施する救急医療等の設備整備事業に補助金を交付する。	補助金交付申請者となる「川崎市病院協会」から、救急医療に係る設備整備を実施した病院に対し、一律に補助金が分配されている。	川崎市病院協会	423,000円	・逆浸透法精製水製造装置(東レメディカル)を導入、これに係る領収書を確認	32病院	10,332,000円
5 救急災害用医薬品等 備蓄事業補助金	災害時における罹災患者の応急医療の確保を目的として、「川崎市病院協会」が実施する災害時用医薬品等の備蓄事業に対し補助金を交付する。	補助金交付申請者となる「川崎市病院協会」から、備蓄医薬品を購入した医療機関に対し補助金が分配されている。	川崎市病院協会	181,800円	・備蓄医薬品購入に係る領収書を確認	33病院	4,890,340円
6 救急病院等確保 事業補助金	救急医療の安定的確保、充実を目的として、救急告示医療機関の救急患者の受入に対して、補助金を交付する。	補助金交付申請者となる「川崎市救急告示医療機関協会」から、救急搬送受入数に応じて補助金が分配されている。	川崎市救急告示 医療機関協会	1,846,000円	・平成23年の救急搬送受入実績 ⇒473人	24医療機関	58,204,000円

川崎南部病院



診療日 : 月～金曜日(午前・午後)
土曜日(午前)

診療受付 : 午前 8:30～11:30
午後 13:30～16:30

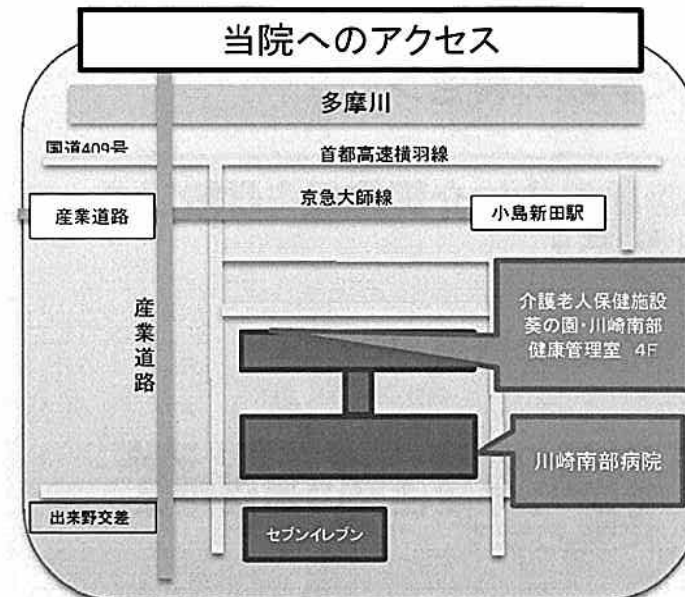
診療時間 : 午前 9:00～12:00
午後 14:00～17:00

川崎南部病院は、予防から医療、介護まで優しきと思いやりで地域に根ざした病院を目指してまいります。

平成25年4月1日 オープン

当院は、これらの診療科をもつ病院として運営してまいります。

内科	糖尿病内科	内分泌内科	心療内科	神経内科
呼吸器内科	消化器内科	循環器内科	外科	消化器外科
循環器外科	整形外科	脳神経外科	心臓血管外科	形成外科
小児科	リウマチ科	泌尿器科	皮膚科	眼科
肛門外科	リハビリテーション科	放射線科	麻酔科	耳鼻咽喉科
婦人科	精神科	歯科	歯科口腔外科	



<交通のご案内>

○JR京浜東北線、東海道本線でJR川崎下車

京浜急行川崎駅で大師線に乗換え、
(JR川崎駅から京浜急行川崎駅まで、徒歩5分)

小島新田駅(終点)下車徒歩3分

<所在地>

〒210-0822
神奈川県川崎市川崎区田町2-9-1

川崎南部病院

電話番号 044-277-5511

FAX 044-277-5568

＜病院の特色＞

■敷地内に介護施設を併設しています

＜病院の取組み＞

■地域の医療・福祉機関と連携を図り、地域住民の健康確保に努めます

■患者様へのサービスの向上に努めます

＜お問い合わせについて＞

電話番号 044-277-5511

FAX 044-277-5568

フロア案内(予定)

8F	緩和ケア病棟(予定)		
7F	療養病棟52床 4月1日オープン		
6F	療養病棟56床 5月1日オープン		
5F	一般病棟(予定)		
4F	一般病棟56床 4月1日オープン	4F	健康管理室
3F	回復期リハビリテーション病棟(予定)	3F	介護老人保健施設 美の園・川崎南部
2F	外来・検査	2F	介護老人保健施設 美の園・川崎南部
1F	外来・検査	1F	介護老人保健施設 美の園・川崎南部
B1F	機能訓練室・駐車場	B1F	駐車場
B2F	施設管理設備		

＜病床数＞ 308床

＜併設施設＞

介護老人保健施設

入所 : 100名

通所 : 40名

居宅介護支援事業所

訪問リハビリテーション事業所